

～みんなで創り みんなで育む みんなのまち～

町制施行65周年記念式典

本町は、昭和21年9月1日に「知名町」として町制を施行し、昨年で65周年を迎えました。これを記念して12月18日(日)にあしびの郷・ちなで、来賓、被表彰者そして全国各地の沖洲会の皆さんなど約400名の出席のもと記念式典が盛大に開催されました。

式典は、ラ・ガジュマーレと知名中学校吹奏楽部による町歌斉唱で幕が開き、平安正盛町長の式辞、東善一郎議会議長のあいさつの後、医療法人徳洲会理事長徳田虎雄氏の名誉町民顕彰がありました。(以下に詳細記事掲載)また、町制施行65周年記念功労者表彰があり、一般表彰者42名、特別表彰1団体1名が表彰されました。

来賓を代表して、鹿児島県知事(松田典久大島支庁長代読)、徳田毅衆議院議員、鹿児島県議会議長(禧久伸一郎県議会議員代読)、伊地知実利和泊町長より祝辞があり、町制施行65周年に対するお祝いの言葉が述べられました。

式典の最後は、ミスフローラルの春日千恵子さん、ミスハイビスカスの東早希さんが、知名町をより明るく、より美しく、より豊かにするための町民憲章を力強く朗読しました。

また、あしびの郷・ちなのハワイエには、「町のあゆみ」と題した写真コーナーや過去の広報ちなを電子化しパソコンで閲覧できるコーナーなども設けられ、多くの町民が足を運び、65年の歴史を懐かしむ様子が見られました。



美しい花々が来場者を迎えました



オープニングの町歌斉唱



町のあゆみ写真コーナー



功労者表彰



祝辞を述べる徳田毅
衆議院議員



町民憲章朗読

医療法人徳洲会理事長 徳田虎雄氏が名誉町民に



知名町では、本町と縁故の深い方で、本町の発展や公共福祉の増進により社会公益上に偉大な貢献をし、その功績が顕著で、町民が郷里の誇りとし、かつ、深く尊敬に値する方に対し、議会の同意を得て知名町名誉町民の称号を贈り、その功績を公表して顕彰することとしています。昨年9月の議会定例会で、医療法人徳洲会理事長の徳田虎雄氏に、名誉町民の称号を贈ることが全会一致で同意され、徳田氏は町制史上5人目となる名誉町民となりました。

徳田氏は、昭和49年に医療法人徳洲会を設立。平成2年には瀬利覚字に沖永良部徳洲会病院を開設し、さらに平成16年には田皆字にグループホーム岬を開設されるなど、本町の医療・介護・福祉の充実と雇用の創出に多大な貢献をされました。

この度の町制施行65周年記念式典においては、ご夫人の徳田秀子氏のご出席され、平安正盛町長が名誉町民称号記を贈呈し、徳田氏を名誉町民として顕彰しました。